

校長 だ よ り

～紙面を独占した生徒の活躍～

平成24年11月22日

校長 與那覇 健 勇

「今朝の新聞は読谷高校ばかりですね。読谷新聞ですね。凄いですね。」11月7日（水）午前9時10分。県立学校教育課の副参事から激励のお電話をいただきました。県から直接お褒めの言葉がかかってくることはそうあることではありません。本当にありがたいことです。当の生徒の頑張りは勿論のこと、それを指導した先生方、見守ってくれた保護者、そして暖かく支えた地域の方々。それらが三位一体となって見事に結実しました。HP上にも生徒の活躍の欄にアップしてありますが、今日はその一部を紹介してみたいと思います。

（新聞での掲載順）

9月28日（金）：知花友理阿さん 【第37回国際理解・国際協力のための高校生の主張（最優秀賞）】
9月28日（金）：新竹有樹さん 【第36回県高校総合文化祭弁論部門（優良賞）】
10月28日（日）：津波愛乃さん 県知事賞 ：松田真里亜さん 県教育長賞 【第7回文字・活字文化大賞沖縄県青少年意見文・小論文コンクール】
10月19日（月）：18名が優良賞以上の入賞 【第60回全琉図画作文書道コンクール】
11月7日（水）：知花友理阿さん 【第59回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール(特賞)】
11月7日（水）：読谷高校男女ソフトボール 【県高校新人大会アベック優勝】

「ローマは一日にして成らず」本校は63年間、生徒・教師・地域が一体となって、一日も休むことなく前へ前へと進んできました。『誠実』に『進取』の心で、そして回りとの『融和』の精神で。この杜でこの活動が脈々となされ、引き継がれている。それが本校です。この流れに竿を差すことはできません。読高生が「読高プライド」を持って「ダイヤモンド」になる日を待っています。